

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	日本語とコミュニケーションB		
英文授業科目名	Japanese Communication B		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	笠原 ゆう子		
居室	P - 2 1 1		

公開E-Mail	授業関連Webページ
笠原ゆう子 kasahara@fedu.uec.ac.jp 池田裕 ikeda@fedu.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
1．文化によるコミュニケーションや考え方が異なることを理解する 2．日本語によるコミュニケーション能力を向上させる <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手にわかりやすい方法で情報が伝達できる</li> <li>・理由を示して主張ができる</li> <li>・相手の主張のポイントを理解し、適切に反応できる</li> </ul> <p>上記のうち、「日本語とコミュニケーションB」では2を中心に、「日本語とコミュニケーションA」では1を中心に扱う。両方履修しても内容が重ならないように授業を進める。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
特に定めず、適宜プリント等を使用する。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

授業では以下のようなタイプのコミュニケーション活動の実践を行う。

異文化理解トレーニング  
グループワークトレーニング  
略式ディベート  
パブリック・スピーキング  
グループ発表

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席：20%    クラス活動への参加度：50%    発表：30%

### 【オフィスアワー：授業相談】

事前にメール/電話等で連絡があることが望ましいが、原則として大学には毎日来ているのでいつでも話しに来てください。

### 【学生へのメッセージ】

留学生と日本人学生による異文化間コミュニケーションの共同作業を通して、見えてくるものがきっとあると思います。

### 【その他】

受講者を50人までに制限します。受講希望者が多い場合には、第1回の授業に出席した人を優先します。